

平成 27 年 8 月 14 日

鹿児島大学病院 手術室 で

全身麻酔を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院麻酔科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 気管挿管デバイスの導入による麻酔導入時間の変化過去 5 年間の推移（後ろ向き研究）

【研究機関】 鹿児島大学病院 麻酔科

【研究責任者】 増田美奈 （麻酔科 特例講師）

【研究の目的】

手術で全身麻酔をかけると、自分で呼吸するのが難しくなるため、人工呼吸器を使って人工呼吸を行います。この時、安全に人工呼吸管理ができるように口から気管（肺につながる管状の部分）に喉頭鏡という金属製の道具を使って気管チューブという管を入れます。これを気管挿管といいます。しかし、この管を入れる際に 0.5% の頻度で管を入れるのが難しい患者さん（挿管困難の方）がいます。現在最も普及している直接視認型喉頭鏡ではこの挿管困難の方への対処が難しく、唇や歯が損傷したり、のどが

腫れたりなどの合併症をおこす危険性も高くなります。そこで麻酔科では最近発売された新しいタイプのビデオ喉頭鏡を導入し、挿管が難しい方のみでなく、通常の麻酔管理にも利用しています。新しいビデオ喉頭鏡は従来の喉頭鏡に比べて視野が広く、操作もしやすいという特徴があります。この研究では鹿児島大学附属病院手術室の過去5年間の電子麻酔記録データより気管挿管を受けた患者さんを抽出し、全身麻酔開始から気管挿管までかかった時間と使用された喉頭鏡の種類、難易度、合併症の有無を調査し、その有用性を評価します。新しいビデオ喉頭鏡が安全で速やかな麻酔・呼吸管理に役立っているか評価を行うことでさらに安全性の向上・時間の短縮を図ることが出来ます。

【研究の方法】

平成22年4月1日～平成27年3月31日までの電子麻酔記録から全身麻酔症例を抽出し、気道確保に要した時間の計測と合併症の有無について検索します。

●対象になる患者さん

平成22年4月1日～平成27年3月31日まで鹿児島大学医学部・歯学部附属病院で全身麻酔による手術を受けられた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

全身麻酔時の気管挿管（人工呼吸のために口から挿入される管）に関する情報（使用した道具や所要時間、合併症）を使用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを

特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は鹿児島大学麻酔科学の研究費で実施します。企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 麻酔科

特例講師 増田美奈

電話 099-275-5430 FAX 099-265-1642